

経 済 民 生 常 任 委 員 会 記 録

令和元年 11 月 5 日(火)午後 4 時 55 分～午後 5 時 05 分(9 階 904 会議室)

○出席委員(8名)

委 員 長	二階堂武文
副委員長	佐々木 優
委 員	高木 直人
委 員	川又 康彦
委 員	石山 波恵
委 員	阿部 亨
委 員	小松 良行
委 員	山岸 清

○欠席委員(なし)

○市長等部局出席者(なし)

○議 題

「古関裕而氏を活かしたにぎわいの創出に関する調査」

- (1) 参考人招致の中止について
- (2) 当局説明について
- (2) その他

午後 4 時 55 分 開 議

(二階堂武文委員長) ただいまから経済民生常任委員会を再開いたします。

ここからは、所管事務調査について協議をしてみたいと思います。

議題は、お手元に配付の印刷物のとおりです。

古関裕而氏を活かしたにぎわいの創出に関する調査についてを議題といたします。

1、参考人招致の中止についてを議題といたします。

実は10月31日の夕方に、11月22日に参考人として呼び出す予定であった齋藤秀隆氏より、体調不良で3週間ほど入院することとなったため、参考人招致の対応が難しいとの申し出がありました。正副委員長といたしましては、参考人の体調のことでもありますことから、参考人招致の22日の実施は困難であると判断し、参考人招致は中止にしたいと考えております。

ただ、22日は皆様に予定の確保もいただいておりますので、委員会は予定どおり開催し、参考人招致のかわりに現地調査で古関裕而記念館を視察してはどうかと考えております。22日まで日数もない中、かわりの参考人の手配や当局説明を行うことは困難でありますので、先に現地調査を行ってはどうかという案でございます。お手元に配られているかと思いますが、経済民生常任委員会現地調査について案をごらんください。

1、調査日時ということで、11月22日金曜日午後1時30分からということで、こちらは参考人招致のときと変更はありません。

次に、2、調査内容でございますが、記載のとおり、これまで名誉市民である古関裕而氏の業績と古関メロディーの継承、また本市の音楽文化の振興に貢献し、今後も古関裕而のまち福島の推進に欠かすことのできない古関裕而記念館の現状や取り組み等を把握するためとしております。

想定している確認事項としては、1つ目に古関裕而記念館の概要ということで、展示の状況や古関裕而氏の足跡を古関裕而氏の市内でのエピソードやゆかりのスポットも交えながら確認すること、2つ目に古関裕而記念館の来館者の状況ということで、NHKの朝ドラ放送決定以降の来館者の状況とそれ以前の状況、また来館者の年齢層や市内からの来館者が多いか、市外からの来館者が多いかといった来館者の内訳を来館した人の手応えなども含めて確認すること、そして3つ目に古関裕而記念館の来館者増に向けた今後の取り組みと課題ということで、ドラマ放映決定を契機とした今後の取り組み予定や、今後も長く記念館と古関裕而氏が親しみを持たれ続けるための課題などを確認することで予定しております。

次に、3の出席委員から5の服装については記載のとおりです。

最後に、6、日程ですが、まず13時30分に市役所908会議室にご参集いただき、委員会を開会、その上で市役所東口玄関からマイクロバスで出発し、古関裕而記念館を視察、15時45分には市役所908会議室に戻り、委員会を再開し、現地調査の意見開陳やその他の協議事項を確認し、16時30分に解散予定で考えております。

以上が現地調査についての案ですが、委員の皆様から何かございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) なければ、急遽の予定変更で申しわけありませんが、このような形で現地調査を参考人招致にかわって行わせていただければと思いますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) それでは、大変申しわけありませんが、ご対応をどうぞよろしくお願いいたします。

次の議題に移りまして、2、当局説明についてです。

前回、10月23日の委員会で当局説明の日程を12月20日、23日の2日間で確保いただきました。後日当局とも日程を相談させていただきまして、その結果、20日金曜日の午後1時30分より開会できれば

と思いますので、改めて23日の開催はなしということでよろしく願いできればと思います。

【「もう一度お願いします」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) 20日。

【「12月」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) 12月20日金曜日の午後1時30分より開催となりました。

【「場所は」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) 場所は908の予定です。

続けます。その上で、配付の資料で古関裕而のまち・ふくしまシンフォニーと書かれた資料をごらんください。こちらは当局で現在進めております古関裕而氏を生かしたまちづくりにおいて根幹となっている取り組みの計画でありまして、古関裕而のまち・ふくしま協議会で承認され、既に実際に取り組み中の事業も何点かあるようでございます。

資料をごらんいただくと、幅広い場面で古関裕而氏を生かして全体でまちづくりを進めていこうという計画であることがわかるかと思います。当局では、今後もこのシンフォニーに基づき全体的なまちづくりを進めていくとのことであり、12月の当局説明では、今ご提示しております古関裕而のまち・ふくしまシンフォニーの詳細な内容や、今後こういった時期にどのような手法で古関氏を生かしたまちづくりを進め、観光振興や地域の活性化に取り組んでいく考えなのかを確認していくようになるかと思います。また、そのほかシンフォニーができる前から取り組んできた古関裕而氏関連の事業のこれまでの実績や今後の見通し、ドラマ放映決定による本市観光への影響、古関裕而氏に関する市内の盛り上がりの状況などもあわせて確認していきたいと考えているところであります。

まずは、皆様に事前の資料提供ということで、こちらの古関裕而のまち・ふくしまシンフォニーについてを配付させていただきましたが、現時点で当局説明に対して委員の皆様から何かございますでしょうか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) それでは、当局説明は今申し上げたような点を踏まえて次回案をご提示したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

最後に、3、その他に移ります。

既にお手元に配付の資料で講演会のチラシがございます。朝ドラが福島にもたらす大きな波及効果とタイトルが書かれたもので、11月15日金曜日、とうほう・みんなの文化センターで開催するものであります。所管事務調査のテーマとも非常に関連がある講演と思われますので、委員個々の判断で参加をいただくことにはなってしまいますが、ご都合のつく方はぜひご参加のほどよろしくお願いいたします。情報提供ということでご案内をさせていただきました。

その他委員の皆様から何かございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) なければ、以上で経済民生常任委員会を終了いたします。

午後 5 時05分 散 会

経済民生常任委員長 二階堂 武文